校長室だより

チーム東…生徒・家庭・教職員へ向けての校長通信
高め合い、磨き合い、感動し合い、「愛」いっぱいの真岡東中に！
真岡東中学校ＨＰでもご覧いただくことができます

真岡東中 校長室だより
Ｎｏ．５１
2018/06/05/Tue

世界環境デー
井原西鶴、23500句の新記録　1684年
新撰組、池田屋襲撃=池田屋事件　1864年
「春分の日」「秋分の日」決定　1878年
ロバート・ケネディ銃撃さる　1968年

県春季各種大会(6／1～2)が終わる！
レベルが高い県大会で本校の心意気を見せた！
サッカー=県ベスト8進出！野球=ベスト16に！
～保護者の皆様の応援並びにご協力、ありがとうございました！～

県春季大会ベスト８に進出したサッカー部

心意気を感じる活躍　…快晴の６／１(金)～２(土)、県春季各種大会が県内各会場で行われました。本校では、野球・剣道・サッカー・卓球・バドミントン・陸上と多くの種目が出場しました。各地区を勝ち抜いて県大会出場を果たしたチーム・選手が集う大会ですから、１勝することが難しいのです。

その中にあって、サッカー部がベスト８！野球部がベスト16！に進出する活躍を見せました。７月の総体が最終目標の大会であり、さらに上位を目指していただけに、この成績で「おめでとう」と言うのはまだ早いかもしれません。でも、やはり勝つのが難しい県大会で出したこの結果は立派です！各チーム･選手とも、県大会の舞台に立てたことを誇りと自信にして、そして敗れた悔しさをバネにして、さらにレベルアップを図ってください。

春季大会で県大会出場を果たせなかった部は、暑い熱い夏の総体へ向けて練習に励み、「君も私も県大会」を合言葉に、今度こそ県出場を目指してがんばりましょう！

すべての運動部の総決算が夏の総体です。県大会・関東大会・全国大会…と上位の大会へと繋がっていく大会になります。

君たちが輝く大会になることを期待しています。

名場面集

君には、いま目標があるか？

学習と部活動との両立をめざそう！…③

３年生は、今年度最初の実力テストが来週から始まります。改めて自分が**「受験生である」**と自覚することでしょう。春季大会が終わり、つい目標を失いがちになるこの時期…**「テストにはまだ時間がある、部活動も総体はまだ先のことだ、受験なんてもっともっと先のことさ」**などと考えていませんか？今こそ、しっかり目標を持ってほしいのです。

毎年１学期、勉強と部活の両立について悩む生徒が多いため、「両立」について真剣に考えてもらいたいと連載をしてきました。今回は　部活動に熱中し、勉強との両立に悩む中学生が母親の仕事と家庭の両立に学び、計画のある生活を考えたという作文を紹介します。「思春期」の娘が「思秋期」（？）の母親を見て学んだという作文です。

「両立ってなんだろう」　　中学２年　女子生徒による作文

「両立」って大変なことだと思います。二つのことを同じくらいずつ頑張らなければならないからです。私には、両立って難しいです。ふだんは部活ばかりやっていて勉強には手をつけずじまいなのです。やろう、やろうとは思うのですが…。

私は部活でテニスをやっていて、朝練に、放課後の練習にと、毎日コートを走り回っています。練習を終えて帰宅すると、動くのもおっくうになるくらい疲れ切って、試験日にでもならなければ勉強する気になれません。だからやっぱり勉強不足で、試験の後はいつも後悔ばかり。

「今度こそ、毎日少しずつ勉強を続けるぞ！」と思って始めるのですが、やっぱりダメです。部活が忙しくなると疲れて眠くなるし、試験が終わった解放感から、テレビで時間のむだづかいをしたりもするし、なかなか思うようにいきません。

それに今年は、私が部長になったので、１年生の頃には気づかないでいた細々したことの心配までしなくてはならなくなりました。部員同士のこと、試合のこと、技術的なこと、気の張ることばかりです。先輩たちがよい成績を残しているので、責任を感じますし、大会を前にした今は、落ち着かない気分です。

それでも毎日部活をやっている自分のことを考えると、やはり部活が好きで、部活の仲間が好きでやっているんだなあと、改めて思います。だからつい、出会ったことのない化け物みたいな受験のこととか、一人で机に向かって苦労する勉強のことなどは、考えるのを後回しにしてしまい、楽しい部活ばかり熱中したくなるのです。

でも、来年は、私も３年生。**これからは、楽しいことだけやれるなんてことはないんだ。大変なことだって、やらなければなりません。**

私をいつも励ましてくれる母は、仕事と家庭を両立させて頑張っています。母を見ていて、両立には、時間の計画と心の切りかえが必要だと思います。仕事に出かける前の限られた時間にも母は、家事をテキパキとこなします。疲れて帰ってくるはずなのに、母は、姉や私の話を聞いてくれます。そういう母を、たくましい大人だと私は思います。

両立って、二つのことを同時に同じくらいずつ頑張ることではない、別々の二つの力を持つことではない、と私は今 考えています。**心を上手に切りかえながら、一つのことに熱中して、どちらも頑張るということ**ではないでしょうか。

私にとって、勉強だけの毎日はいやだし、テニスだけしかない毎日というのも情けないと思います。まして、どちらもできなかったら、そんな生活は本当につまらない毎日になってしまうでしょう。こんなふうに考えてくると、ますます両方を頑張りたくなってきました。

つい後回しにしがちな勉強でも、頑張ってやれば、やり終えた後は気持ちがすっきりします。すっきりすれば、テニスの楽しさも、思いっきり楽しく味わえるのです。

私も、もうひと頑張りの努力で、両立ができそうな気がしてきました。